
蓬萊町だより

第八十九号

平成 28 年 7 月 25 日

発行 蓬萊町会

町内探訪 (15)

立てば芍薬 座れば牡丹 歩く姿は百合の花

女性の立ち振る舞いの美しさを花に譬えた言葉として有名です。

桜とともにやって来るにぎやかな春の季節が終わり、季節が落ち着きを見せ始める四月中頃になると牡丹が咲きます。そして、少し遅れて芍薬の花。

やや大柄で華麗な花をつける点で牡丹と芍薬は一見同じように見えますが、牡丹は木で芍薬は草です。

町内では牡丹も芍薬も見かけることが少ないですが、清林寺さんの境内に牡丹と芍薬が綺麗に手入れされて見事に咲いていました。

牡丹が木で芍薬が草であることが確認できました。その時に撮った写真をご紹介します。

牡丹切て気の衰えし夕かな 蕪村

(文責 猪熊良一)



牡丹の花



芍薬の花

蓬萊句壇

老いてこそ老いは云うまじチュウリップ 小野島淳

母の日や涙を秘める母の文字 津久井たかを

竿一本浴衣一枚広げ干す 小野みどり

若葉見てさす目薬の一と目盛 藤井明世

鳶若葉レンガ造りの純喫茶 船越はるき

ジャズピアノ跳ねて転げて夏を呼ぶ 塩谷さぎり

天を知り地を識りたるや錦鯉 岡部恒田

新緑を胸一ぱいに深呼吸 池田南北



青年部再開に際して

青年部長 藤井明

しばらく休止しておりました青年部の再開に伴い、青年部長を拝命いたしました。これまで蓬萊町会員として、或いは近年は文化部副部長として蓬萊町会活動・行事に参加してまいりましたが、私自身、青年部の意義・目的について思い描いてこなかったのが正直なところですので、そこで、青年部を活動させていくにあたり、まず青年部の意義・目的について考えました。

当初、青年部は防犯部や交通部などと異なり、明確な目的が解りませんでした。過去には青年部の諸先輩方が祭礼や盆踊りでスタッフとして尽力されていたことを記憶していますが、単なるスタッフ要員ではなかったはずで

と、ところで、町会活動で最も顕著で重要なものとして防災活動がありますが、大規模災害に際しては自助と公助の間をつなぐ共助が大切であり、蓬萊町会員が相互に力を合わせて乗り切らねばなりません。しかし、会ったこともない、話したこともない、何を考えているのか解らない、そんな人と力を合わせるのには難しいことだと思います。

そこに青年部の意義があるのだと思ひ至りました。つまり、防災をはじめとして様々な蓬萊町会活動は、蓬萊町会の役員だけが行うべきこ

とではなく、蓬萊町会員の方々が時に裏方、時に参加者自身になって皆さんが力を合わせて行うものです。そのために蓬萊町会員が顔を合わせ、語り合い、心を共にすることが必要であり、それを実現していくことが青年部の意義・目的なのだと思います。

これまでも蓬萊町会では文化部を中心として祭礼、盆踊りのほか餅つき（おしるこ会）、向丘連合運動会などの行事を行ってきております。青年部でも蓬萊町会員の皆さんが楽しめるイベントを催していきたいと考えていますが、これらを催すこと自体が青年部の目的ではなく、これら「催し」によって蓬萊町会員の皆さんが「顔を合わせ、語り合い、心を共にすること」が目的です。簡単に言うなら「蓬萊町会員が仲良くする場」が「青年部」なのだと思います。裏方でも表方（参加者）でもこういった行事（イベント）に参加する蓬萊町会員の方々皆さんが「青年部員」と言えるのだと思いますので、町会行事だけでなく青年部の催しの際には蓬萊町会員の皆さんにはお気兼ねなく参加していただけたらと思います。

最後になりましたが、今年は九月に根津神社の祭礼があります。全二十三ヶ町の神輿が勢揃いして宮入りを行う壮大なものになり、青年部も頑張つて支援していきたいと思ひますので、蓬萊町会員の皆様方には多数ご参加くださいます様お願い致します。

婦人部の活動について

婦人部長 宮下登志子

昨年度前婦人部長の花岡幸子様が急逝し、その後を婦人部の代表として一年間務めさせていただきました。そして今年度、部長という大役を任命され、何分にも未熟な私ですので大変困惑しております。

でも部員の皆様に多方面に渡り助けいただき、又支えていただきながらスタートすることができました。

さて、婦人部は次のような活動をしています。文京区赤十字婦人奉仕団のボランティア活動（献血、特別養護老人ホームの洗濯たたみと生け花のお手伝い）と区主催の研修会（視察見学）に参加しています。

その他に駒込警察の母の会（交通安全）、根津神社つじ会（甘酒茶屋、つつじ苑内草むしり）、地域のふれあい等があります。

笑顔いっぱい（和（輪））を持ってみんなで協力し合いながら楽しい婦人部を目指して活動しています。

この紙面をお借りして、婦人部に多くの方に加入して頂けますようお願いいたします。

お手伝いをして頂ける方大歓迎です。是非婦人部に加下さい、部員一同心よりお待ちしております。

平成27年度収支決算報告書			
自 平成27年4月1日～至 平成28年3月31日		蓬萊町会	
収入の部		支出の部	
前期繰越金		各部支出	
普通預金	2,840,751	総務部費	966,677
		婦人部費	130,679
町会費	1,514,300	文化部費	213,612
受取利息	412	防火防災部費	116,328
		防犯部費	63,900
		交通部費	74,476
区助成金等			
区報配布	180,800		
蓬萊町だより	15,282		
活動助成金	134,516		
リサイクル	71,040		
防災訓練助成金	0	盆踊り経費	1,291,803
		注.1,291,803円には町会助成金 500,000円を含む	
東京都地域の底力再生事業助成金	0		
盆踊り関連			
協賛金	586,400		
屋台売上金	218,800		
ゲーム売上金	61,600		
鉢払い参加費	50,000	鉢払い経費	155,000
		次期繰り越し金	2,661,426
計	5,673,901		5,673,901
東京都地域の底力再生助成金20万円を申請中、但し27年度中の入金なし。			
・別途積立金口座残高(27.4.1)		1,318,621円	
テント一式購入(27.6.23)		▲134,900円	
受取利息(27.8.17)		104円	
受取利息(28.2.22)		100円	
25年度末残高		1,183,925円	
祭礼専用口座27年度末残高		¥1,225,695	
上記の通り平成27年度の収支決算報告を致します。			
		町会長 大畑 清心 ㊟	
		会計 青木 喜一 ㊟	
		会計 小林 晴彦 ㊟	
帳簿及び関連書類を照合の結果、上記収支決算は正確に処理されていると認めます。			
	平成28年5月22日	会計監査 堀口 克雄 ㊟	

平成28年度収支予算			
自 平成28年4月1日～至 平成29年3月31日		蓬萊町会	
収入の部		支出の部	
前期繰越金		総務部費	900,000
普通貯金	2,661,426	文化部費	300,000
		婦人部費	200,000
町会費	1,500,000	防火防災部費	160,000
		防犯部費	100,000
区助成金	400,000	交通部費	100,000
東京都助成金	200,000	青年部費	100,000
大人半纏製作返済金 (貸付残高471,000円)	250,000	祭礼助成金	500,000
		予備費	2,651,426
計	5,011,426		5,011,426
別途積立金(1,183,925円)より次の防災備品等の購入を計画しておりますので予算化いたします。			
ガラス戸付き掲示板(総務部扱い)	一式		140,000円
平成28年度予算を上記の通りと致します。			
	平成28年5月24日	町会長	大畑 清心 ㊟
		会計	青木 喜一 ㊟
			小林 晴彦 ㊟

町会活動の概要

平成二十七年十一月から平成二十八年五月まで

- 11/3 交通安全自転車教室
- 11/4 防災コンクール 優勝&第三位
- 11/30 日医大建替工事協議会
- 12/1 駒本小学校スクールガード巡回
- 12/13 青少年健全育成会 ケーキつくり
- 12/19 歳末助け合い募金
- 12/27 子供歳末防火夜警パトロール
- 12/29 歳末防火夜警パトロール
- 1/15 日赤献血活動
- 1/24 町会新年会 後楽園飯店
- 2/28 もちつき大会
- 3/3 くすのきの郷ボランティア活動
- 3/5 特殊詐欺防止キャンペーン
- 3/15 避難所運営協議会全体会議
- 3/24 春の交通安全協議会
- 3/26 お寺のよこ運営協議会
- 4/8 つじ祭り開苑式
- 4/12 交通安全運動活動
- 4/27 つじ祭り甘酒茶屋担当
- 5/11 日赤献血活動
- 5/22 町会定期総会

訃報

小野芳子様	76歳	向丘2-23-20
廣澤又工様	96歳	向丘2-15-18
花岡一雄様	80歳	向丘2-36-2
日色利行様	92歳	向丘2-36-8
高木はつ子様	93歳	向丘2-36-8
清水坂盛様	100歳	向丘2-18-12
岩本英樹様	74歳	向丘2-16-9
橋本明昭様	81歳	向丘2-37-3

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

今年の夏は暑くなるとの長期予報が出ておりますが、町会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

九月に行われます根津神社の祭礼は、根津神社の氏子全町会の神輿が打ち揃って宮入することになっており過去にない盛大なお祭りになります。

蓬萊町会としては数年ぶりとなる根津神社への宮入になります。

蓬萊町会の神輿巡幸に是非多く皆様に参加頂きたく、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

なお、文京テレビの中継も行われますのでお楽しみに。

編集委員 本城康至 坂本禎一

大熊敏幸 猪熊良一